

令和5年度（2023年度）厚生常任委員会管外視察の概要

1 視察日 令和5年（2023年）11月6日（月）～8日（水）

2 視察者 厚生常任委員会（7名）
楠本千秋（委員長）、坂梨剛昭（副委員長）、
岩中伸司、藤川隆夫、鎌田聡、高野洋介、杉蔦ミカ

3 視察の概要

（1）社会福祉法人越前自立支援協会 一陽（福井県越前市）

越前自立支援協会一陽は、子供たちが可能な限り家庭に近い居場所において安心して健やかに育つことができる生活環境創りを目指し、児童養護施設、児童家庭支援センター、子育て支援センターを運営している。

今回の視察では、最初に施設内を見学し、その後、同法人が設立された経緯、児童養護施設として実施している事業等について説明を受けた。

同法人からは、「できるだけ早い段階で要保護児童を発見しケアすること」と「児童が施設を退所した後もなるべく長くつながり続け、自立を支援すること」に重点を置いて事業に取り組んでいるとの説明があった。



（2）医療法人野尻会 野尻医院（福井県越前市）

野尻医院は、内科と小児科の診療を行うとともに、高齢者、障害児のデイサービスを実施しているほか、未就学児の一時預かりや学童保育を実施している。そのほか、食を通じた居場所づくりや、越前市内には外国人労働者も多いことから外国人向けの学習支援も行っている。

今回の視察では、初めに施設内を見学後、「みんなの食堂」等の事業を始めた経緯や現在の状況について説明を受けた。

野尻医院からは、障害のある子供も対象にした複合型デイサービスや元気な高齢者も立ち寄れる地域交流カフェなど子供から高齢者までの居場所をつくったが、それでも居場所のない高齢者や子供がいることを知り、誰でも大家族のよう



に食事ができるように「みんなの食堂」を開設した、今後もみんながつながる居場所を提供していきたいとの説明があった。

(3) 米原市地域包括医療福祉センターふくしあ（滋賀県米原市）

米原市地域包括医療福祉センターふくしあは、保健・医療・福祉サービスを包括的に提供する施設で、在宅療養支援診療所や病児・病後児保育を備えた医療センター、児童発達支援センターの機能を持つ子供から高齢者までが利用できる施設である。

今回の視察では、同センターを設置することになった経緯、地域包括ケアの取組等について説明を受けた。

同センターからは、今後、地域のワンストップ窓口になれるよう、市、県、商工会、農業関係者、地域企業など様々な機関とつながり、全世帯型対応の支援センターに発展させ、そして将来的には小児から高齢者まで診る総合医中心の地域包括病院を建設したいとの説明があった。



(4) あいとうふくしモール（滋賀県東近江市）

あいとうふくしモールは、障害者が働く施設、介護を必要とする方々とその家族の暮らしを応援する拠点、福祉支援型農家レストラン等、障害があっても認知症があってもどのような症状になっても安心して暮らせる拠点づくりを進めている。

今回の視察では、あいとうふくしモールが設置された経緯、多くの関係者が連携するモールの運営方法について説明を受けた。

あいとうふくしモールからは、あいとう和楽、NPO結の家、あいとうふるさと工房の3事業所をはじめ、いろいろな思いを持った個人や事業者が連携し、「食」「ケア」「エネルギー」が充足した安心のよりどころを目指し、様々な事業に取り組んでいるとの説明があった。

